平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場会社名　株式会社 アルメディオ　　上場取引所　東
コード番号　7859　URL　http://www.almedio.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 飯沼　芳夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　(氏名) 井野　博之　TEL 042-397-1780

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,577	△5.6	△202	―	△195	―	△305	―
24年3月期第3四半期	1,671	△13.0	△219	―	△221	―	△111	―

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　△299百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　△120百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△64.04	―
24年3月期第3四半期	△23.37	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,245	3,760	88.6
24年3月期	4,729	4,083	86.4

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　3,760百万円　24年3月期　4,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,085	△7.7	△287	―	△257	―	△360	―	△75.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	5,225,000 株	24年3月期	5,225,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	455,370 株	24年3月期	455,312 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	4,769,650 株	24年3月期3Q	4,769,694 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※四半期決算補足説明資料関係

・当該補足説明資料は、Financial Data Bookとして当社ウェブサイト(http://www.almedio.co.jp/)のIRニュースに掲載いたします。Financial Data Bookには、製品別売上高ほか業績推移等をまとめております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー補助金という政策効果を背景に景気は緩やかな回復の兆しがあったものの、欧州債務危機の長期化や新興国経済の減速による影響拡大により、本格的な回復基調には至らず、さらに中国関連の需要の冷え込みにより、景気は足踏み状態で推移しました。

当社グループの関連する情報家電業界は、カーオーディオ・カーナビ等の車載機器が自動車販売台数の増加により、堅調に推移してきましたが、エコカー補助金の終了や中国市場の急落を受け、需要が減少しました。

また、地デジ化移行の反動から薄型テレビ、Ｂｌｕ－ｒａｙＤｉｓｃ（以下「ＢＤ」）レコーダー、関連PC等の需要が著しく縮小したまま、依然として厳しい状況で推移しました。

音楽映像業界においては、音楽ＣＤを中心に需要が盛上り、映像ソフトも含め堅調に推移しました。

断熱材事業に関する各種工業炉用炉材の関連市場は、国内の復興需要と住宅設備投資の回復から建設分野で伸張があるものの、新興国を中心とする需要が調整局面に入り、全体として需要は低迷しました。

こうした状況を踏まえ当社は、経営再建計画ＡＬＭ２０１２に基づき希望退職者の募集を実施し、８月より新たな体制で収益基盤の再構築に取組んでいます。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高15億77百万円（前年同四半期比5.6％減）、営業損失２億２百万円、経常損失１億95百万円、四半期純損失３億５百万円となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

テストメディア事業

当事業は、オーディオ・ビデオ機器やコンピュータ周辺機器等の規準及び調整用テストディスク等の開発・製造・販売を行う「テストメディア」と、ＤＶＤベリフィケーションラボラトリ及びＢＤテスティングセンターとしての認証テスト及び各種ディスクの特性テスト受託等を行う「テスティング」が含まれます。

テストメディアは、ＡＶ機器等が前年までの特需の反動減から未だ回復できないものの、上半期は、自動車産業の回復により、車載機器向けの需要は堅調に推移しました。しかしながら、９月以降、中国での急激な需要減少を受けた顧客企業の生産調整が長期化した結果、売上は低迷しました。

テスティングは、ハード機器関連の評価受託などテストアイテムの拡充を図りながらサービス展開を図った結果、受託件数は増加しました。

以上により、テストメディア事業の売上高は４億29百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。

クリエイティブメディア事業

当事業は、ＣＤ・ＤＶＤ・ＢＤのＯＥＭ製造・販売を行っております。

クリエイティブメディアは、音楽ＣＤを中心に堅調に推移し、売上は前年同四半期を若干上回る結果となりました。

以上により、クリエイティブメディア事業の売上高は７億80百万円（前年同四半期比2.7％増）となりました。

断熱材事業

当事業は、連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司において、電子部品用副資材、耐火材料及び関連製品の開発・製造・販売を行っております。

また、今年度より当社でも同社製品の販売を開始しました。

阿爾賽は、中国経済の減速による各種工業炉用炉材など耐火材料の需要低迷を受け、売上は前年同四半期を下回る推移となりました。

以上により、断熱材事業の売上高は３億45百万円（前年同四半期比26.4％減）となりました。

その他事業

当事業は、新規事業に関する開発・製造・販売を行っております。

その他事業は、ＬＥＤ照明機器等の販売を行いました。

以上により、その他事業の売上高は22百万円（前年同四半期比618.3％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比較して４億83百万円減少し、42億45百万円となりました。負債は希望退職に係る退職給付引当金の減少等により１億59百万円減少し、４億85百万円となりました。純資産は、四半期純損失の計上及び配当金の支払に伴う利益剰余金の減少等により３億23百万円減少し、37億60百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年２月１日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、今後のわが国経済は、政府の経済政策の実施により景気回復の期待が高まる一方で、欧州債務問題の再燃や新興国経済の低迷等、まだ先行き不透明な状況で推移すると見込まれます。

このような状況の中、当社主力のテストメディア事業は、顧客企業が中国関連で生産調整の長期化を余儀なくされ、需要回復に時間が暫くかかる状況で、当社グループの連結業績としましては、非常に厳しい見通しとなっております。

以上により、当社グループの通期連結業績予想は、売上高20億85百万円（前期比7.7%減）、営業損失２億87百万円、経常損失２億57百万円、当期純損失３億60百万円を計画しております。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,791,394	1,544,917
受取手形及び売掛金	419,438	323,994
商品及び製品	86,394	65,879
仕掛品	72,817	69,831
原材料及び貯蔵品	131,421	107,392
その他	27,242	21,315
貸倒引当金	△2,749	△2,749
流動資産合計	2,525,960	2,130,581
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,344,358	1,344,063
その他（純額）	503,349	467,330
有形固定資産合計	1,847,708	1,811,394
無形固定資産		
のれん	211,960	132,475
その他	13,245	11,609
無形固定資産合計	225,205	144,085
投資その他の資産	130,262	159,412
固定資産合計	2,203,176	2,114,891
資産合計	4,729,136	4,245,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	102,115	56,128
短期借入金	40,389	51,282
未払法人税等	7,216	4,908
賞与引当金	38,143	16,497
その他	113,388	90,641
流動負債合計	301,253	219,458
固定負債		
退職給付引当金	246,543	190,594
その他	97,438	75,245
固定負債合計	343,981	265,839
負債合計	645,234	485,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	918,200	918,200
資本剰余金	871,580	871,580
利益剰余金	2,672,118	2,342,825
自己株式	△362,837	△362,848
株主資本合計	4,099,061	3,769,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,650	8,877
為替換算調整勘定	△16,809	△18,460
その他の包括利益累計額合計	△15,158	△9,582
純資産合計	4,083,902	3,760,174
負債純資産合計	4,729,136	4,245,472

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	1,671,562	1,577,927
売上原価	1,196,882	1,141,281
売上総利益	474,680	436,645
販売費及び一般管理費	694,619	639,148
営業損失（△）	△219,939	△202,502
営業外収益		
受取利息	2,354	2,827
受取配当金	1,293	1,305
作業くず売却益	2,126	1,778
保険返戻金	740	－
その他	1,722	2,235
営業外収益合計	8,237	8,147
営業外費用		
支払利息	1,322	724
為替差損	8,344	414
その他	249	0
営業外費用合計	9,916	1,139
経常損失（△）	△221,618	△195,494
特別利益		
固定資産売却益	0	－
貸倒引当金戻入額	3,711	2,809
投資有価証券売却益	1,590	－
退職給付制度改定益	47,982	－
特別利益合計	53,283	2,809
特別損失		
固定資産除却損	6,763	1,072
リース解約損	－	14
早期割増退職金	－	5,641
退職特別加算金	－	118,067
特別損失合計	6,763	124,795
税金等調整前四半期純損失（△）	△175,097	△317,481
法人税、住民税及び事業税	7,096	9,405
法人税等調整額	△70,748	△21,442
法人税等合計	△63,652	△12,037
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△111,445	△305,444
少数株主利益	－	－
四半期純損失（△）	△111,445	△305,444

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△111,445	△305,444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,743	7,227
為替換算調整勘定	△4,811	△1,650
その他の包括利益合計	△8,554	5,576
四半期包括利益	△120,000	△299,868
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△120,000	△299,868
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	テストメディア事業	クリエイティブメディア事業	断熱材事業	その他事業	
売上高					
外部顧客への売上高	438,282	759,972	470,185	3,121	1,671,562
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	438,282	759,972	470,185	3,121	1,671,562
セグメント利益又は損失(△)	63,874	23,986	84,864	△64,449	108,275

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	108,275
全社費用(注)	△328,215
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△219,939

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	テストメディア事業	クリエイティブメディア事業	断熱材事業	その他事業	
売上高					
外部顧客への売上高	429,062	780,460	345,980	22,423	1,577,927
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	429,062	780,460	345,980	22,423	1,577,927
セグメント利益又は損失(△)	127,836	△14,990	39,155	△101,668	50,333

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	50,333
全社費用(注)	△252,835
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△202,502

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。